

私の春休み

－歩きながら考える－

開倫塾

塾長 林 明夫

○1月30日（水） 日本評価学会（東京）

行政評価をどう行うかを考える学会。この中に、政策を考えるときには、費用対効果の実験を行うという「社会実験分科会」がスタート。その第一回目の会合。

○2月2日（土） 開倫 MBA コース（足利）

○2月4日（月） 優良企業家連合会（東京）

木村皓一・ミキハウス社長が代表の2～3か月に1回、ゲストをお招きしての10名内外の小さな勉強会。前回の船井幸雄氏からは、本物とは何か、長所を伸ばすこと（長所伸展法）の大切さを教わった。今回は八城政基・新生銀行頭取から、グローバル企業の経営戦略について学ぶ。（氏はエクソンの元重役）

○2月9日（土） 栃木県 IT・経済戦略会議ワーキング・グループ（宇都宮）

2月15日の最終答申提出に備えての何回目かの委員のみによる答申書全文の執筆作業をトヨタ・ウッドニューホームの本社で中津座長、飯村慎一座長代行を中心に終日行う。中間答申や最終答申の委員による全文執筆は栃木県政史上はじめての快挙（?）。普通は事務局が取りまとめたものを委員が検討するようだ。

○2月13日（火） 独禁法研究協会（東京）

ほぼ毎月開かれる例会では、元公正取引委員会の委員であられた伊依（いより）寛会長から独禁法政策についての最新の動きをお教え頂いてから、講師をお招きしての講演とQ and A。今回は、林義郎衆議院議員から最近の独占禁止政策についてお話を伺う。公共部門の民営化を学ぶには、競争政策の勉強は避けて通れず、日本での最高レベルのこの勉強会は最も有益。

○2月15日（金） 第8回栃木県 IT・経済戦略会議（宇都宮市）

福田昭夫知事に最終答申書を直接提出。

委員の誰一人として手を抜かず、また、企画部長、商工労働観光部長はじめ県幹部も一回も休まず、熱心に委員の議論をお聴き下さった。3回参加なさった福田知事から与えられた「IT先進県の栃木県にするために何をどうしたらよいか」という宿題にはかなり答えられたと思う。私は、ITを活用した民主主義つまりe-デモクラシーの推進、空店舗を活用したインキュベーションづくり、CATVのラスト・ワン・マイルの実現、学校の先生方のリテラシー向上、TLOづくりなどなど提唱したところ、県当局の理解でほとんど実現の方向に向かいそうで、1年の苦勞が報われた感じ。

○2月16日(土) 開倫MBAコース(足利)

○2月19日(火) 栃木県経済同友会(宇都宮)

栃木県の国際化の現状と課題を藤田和子・宇都宮大学国際学部長から伺う。地域開発委員会と国際委員会の合同委員会に参加。中国のWTO加盟が栃木県の各企業に及ぼす影響を調査し、各企業が何をしなければならないかを考えるために夏に調査団を派遣することが決まる。

○2月21日(木) 高井伸夫弁護士の社長フォーラム(東京)

ほぼ毎月1回、高井先生を中心に参加者の皆様とディスカッションをしながら昼食。夕方5時まで高井伸夫先生のお話を聴いて10年位になる。時代認識をどのようにもち、どう企業経営に生かすか。主催者の「中央会」を通じ、高井伸夫弁護士、寺島実郎・三井物産戦略研究所所長、長谷川慶太郎氏、この三人の高名な先生方から学ぶことは大きい。

○2月22日(金・朝) 宇都宮グランドホテル朝食会(宇都宮)

うめぼしを頂きながら、みんなでお茶を飲み歓談。朝食会場入口で選んだ一輪の花と同じ花が置いてある座席に着席し、朝食。30分間、お招きした方の卓話(たくわ)をお聴きし、静かにディスカッション。毎日10人前後参加のこの方式の朝食会は、充実度が高く、参加された人が皆大満足で、素晴らしいもの。今回の卓話(たくわ)は、高橋充宏・日本経済新聞社宇都宮支局長。企業と栃木県経済の活性化策を伺う。どちらとも、どう独自能力を育てるかが、カギのような気がお話を聴いてした。

○2月22日(金・午後) 吉谷宗夫足利市長と会見(足利)

栃木県IT・経済戦略会議最終答申を足利市のIT戦略立案に生かして頂くようお願いした。

○2月22日(金・夜) 経済同友会(東京)

2月15日に社団法人経済同友会(東京)への入会が正式に承認された。栃木県経済同友会、群馬県経済同友会には既に会員にならせて頂き、特に栃木県では、県レベルの経済界からの政策提言にこの15年間随分と関与させて頂いた。勉強をすればするほど、国家レベルの内容も勉強させて頂きたいと思うに至り、東京の経済同友会に入会を申し込ませて頂いた。今回は入会3年目までの人が入れる「創発の会」に初参加。高坂節三・経済同友会憲法問題調査会委員長から安全保障と集团的自衛権について講話して頂き、ディスカッション。栃木県や足利市でも市民が気軽に安全保障、特に人間の安全保障の問題を話し合える場をつくらねばと痛感。

○2月23日(土) 開倫塾の経営品質向上のための研究会(足利)

日本経営品質賞の審査基準書に基づき、毎月1回行っている社内の勉強会。「しくみづくり」からはじまって、「しくみの見直しのためのしくみづくり」、「しくみの評価のしくみづくり」、「評価のしくみを見直すためのしくみづくり」と、どんどん難しい課題が出てくるのが日本経営品質賞。一回スタートしたものであるからネバー・ギブ・アップでやらねば・・・。

○2月27日(水)28日(木) PFI、民営化セミナー(東京)

三井物産戦略研究所がバックアップしてのイギリス大使館主催の二つのセミナーが東京で開かれる。「民間でできることはすべて民間に」と小泉首相が言うのなら、「民営化」と「PFI」の専門家を1万人単位で養成しないと間に合わない。そのために、誰が何をしたらよいのか、具体策が一つもないのが日本の現状。

○3月2日(土) 開倫MBAコース(足利)

○3月2日(土) 上智大学カルチャーマーケティング研究会(東京)

何年か前に参加した上智大学公開学習センター(コミュニティーカレッジ)研究コース、カルチャーマーケティング(田中利見教授)の年に1~2回の同窓会。田中教授のお人柄のせいか、食品・アパレル・化粧品・IT・金融・教育コンサルタント・出版など様々な分野で活躍する研究会メンバーが毎回気楽に集まり、自分の仕事の中で「文化」をどう育み深めるかを語り合う。私の夢は、このメンバーの方々に、足利に来て頂き、足利の食文化やアパレルの文化に触れてもらうこと。

○3月5日(火) 独禁法研究協会3月度例会(東京)

正田彬・慶大名誉教授から特許ライセンス契約と不公正な取引方法についてお教え頂く。月例会に行くと、希望すれば、前回のテープが頂けるので、勉強がはかどり助かる。

○3月7日(木) 栃木県経済同友会(宇都宮)

栃木県の犯罪の実態と警察組織の現状について、栃木県警本部の4名の若手幹部の方々からお話を伺う。福田知事になってから2年続けて警察官の増員は果たしたものの、人口割で警察官の人数は、栃木県はまだまだ全都道府県中40位台。一桁台になるまで、ねばり強く増員を果たすよう経済同友会も応援すべきことをここでも強く提案させて頂いた。

○3月8日(金) 日本経営教育学会(宇都宮・小山)

第39回関東部会が、㈱マニー清原工場視察と白鷗大学での研究会という形で行われた。柳川高行白鷗大学大学院教授のご好意で、私もオブザーバーとして参加させて頂いた。

松谷・マニー社長の強いリーダーシップのもと全社一丸となって、世界一の品質を提供し続ける情熱と執念には学ぶところが多かった。18歳人口の約半数が大学等の高等教育機関に進学する中で、どのように経営学の教育を行ったらよいのかを真剣に議論なさるメンバーの先生方の姿を見て、心強く思った。

3月11日(月) 日英国際交流フォーラム(東京)

日英同盟100周年を記念して開かれたこのフォーラムでは、リズテール卿はじめ英国と日本の大学のトップが、学術を通しての日英の文化交流促進を強く訴えておられた。鈴木・ランス社長のお世話で出席させて頂いた。

3月13日(水) エコノミスト・カンファレンス(東京)

不況下の日本でブランド構築をいかに行うべきかという、朝8時半からよる6時までの勉強会。「お

お客様のニーズに応える」ことを超え、自らが「お客様よりもっとお客様になり、商品やサービスを開発し続ける」こと。片平秀貴・東大教授や D.A.アーカー先生など日本や世界での第一級の研究者、ナイキ、P & G、スターバックス・コーヒー、アスクルなどの経営トップから直接お話を伺って、では開倫塾は、足利市は、栃木県は、どのようなブランド構築を行い、消費者や納税者のためのしくみづくりをしていったらよいか。深く深く考えさせて頂いた。

○3月14日(木) 高井伸夫弁護士・社長フォーラム(東京)

第24期・第2回目の勉強会。10年位前は20名前後だった参加者が100名近くになってきたのには驚いた。国家や地方自治体が公務員の人件費のために破産寸前なのに、打つ手が遅すぎてどんどん悪い方向に進んでいるという高井先生の指摘はもしかしたら正しいかも知れない。経済の本当の構造改革は、7割以上ある赤字企業を5割以下にすること、つまり過半数の会社を黒字にするにはどうするか。具体策を出すことだという先生の主張は疑問の余地無く大賛成。では、どうしたらよいか・・・・。開倫塾では、足利や栃木県では・・・。

○3月14日(木) 教育経営研究会(東京)

毎月1回の学習塾経営者の6～7名の小さな勉強会。メンバー全員が独自の強烈なアンテナをはりめぐらせ、学習塾をはじめとする教育サービス業界は、今どうなっていて、今後どうなるかに異常なほどの関心をもつためか、議論はいつも白熱。視察もどんどん行っているため、理論が極めて具体的に理解可能となる。

○3月15日(金) 経済同友会(東京)

欧州ミッション報告と意見交換を内容とする第10回政治委員会。私は初出席。

○3月16日(土) 第51回人間主義学会(東京)

村井実・慶大名誉教授を囲む教育のあるべき姿を研究する学会で、2～3か月ごとに慶大三田キャンパスで開催されている。

○3月16日(土) 第22回国際問題研究会(東京)

国際問題についての4～5名の英語のみによるディスカッション・グループ。参加者が自分の好きなテーマで10～15分程度発表し、10～15分ディスカッション。私はイギリスの経済週刊誌「エコノミスト」の日本関係記事を発表。公立小学校の会議室や工作室、調理室などを借りて開催。

○3月18日(月) 情報公開と説明責任の研究会(東京)

○3月19日(火) 両崖福祉会・理事会(足利)

特別養護老人ホーム・清明苑の運営についての会議

○3月20日(水) 経済同友会(東京)

渡辺利夫・拓殖大学教授をお招きしてのODAの現状と課題をテーマにした国際問題委員会(午前中)。梶明彦・JAL常務をお招きしての世界の航空業界概観とグローバル競争をテーマにした産業懇

談会第3木曜グループ（正午すぎ）。福井俊彦・富士通総研理事長をお招きしての日本経済の新しい軌道をテーマにした経済政策委員会（午後）。

○3月22日（木）～28日（木） 国立シンガポール大学大学院（シンガポール）

ハーバード大学行政大学院のカンバン・コースの一つである Infrastructure In A Market Economy をアジアの人々のためシンガポール大学大学院で行うもの。公共部門の民営化がメインテーマ。

○3月29日（金） 経済同友会（東京）

園部逸夫・元最高裁判所判事をお招きして、日本における憲法裁判の実態と改革の方向性をテーマにした憲法問題調査会。

○3月30日（土） 開倫 MBA コース（足利）

○3月31日（日） 佐野政策集団21（佐野）

設立記念シンポジウムにパネラーとして参加。e-デモクラシーの推進についてご説明。

* 本業である開倫塾の教育内容をどうするか、先生や教職員の方々のもてる能力を最大限に引き出し、権限を大幅に委譲しながら、いかに生き生きと仕事をし、結果を出して頂くかをたえず考えながらも、宇都宮にいるときは足利のことを、東京にいるときは栃木のことを、外国にいるときは祖国日本のことを歩きながら考え続け毎日を送っています。

— 3月15日記 —